

日経産業新聞

2008年(平成20年)
8月19日
火曜日

NIKKEI BUSINESS DAILY

人と空気と環境と



新日本空調

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1 浜町センタービル
☎(03) 3639-2700(代表)
http://www.snk.co.jp

http://www.nikkei.co.jp/ ■日経産業新聞ホームページ http://ss.nikkei.co.jp/ss/ ■購読のお申し込み ☎0120-21-4946 http://www.nikkei4946.com

変圧器の消費電力大幅減

アモルファス生産3倍に

15年までに100億円投資

日立金属は電力の受配電に使う変圧器の消費電力を大幅に減らせる「アモルファス(非結晶)金属材料」を二〇一五年までに日米で三倍に増産する。投資総額は最大百億円程度になるもよう。温暖化ガス排出削減などの観点から

日立金属

ら電力の流通時の損失軽減が進められているほか、米国で変圧器の省エネ化が義務付けられたことに対応する。同社はエネルギー損失を減らせる新しいアモルファス金属材料の開発を進めており、市場を開拓する。

普及段階に入ってきたアモルファス



性がないのが特徴。熱処理によって磁力の向きを制御しやすく、電力の損失を抑える。変電所や電柱上にある変圧器の鉄心に使えば従来の電磁鋼板と比べ、待機時の消費電力が七割減る。設置場所によって異なるが、動作時を含め消費電力を三〜五割程度減らせるという。

アモルファス金属材料は鉄に数%のホウ素を混ぜ、厚さ二五ミクロン(百分の一)に薄くする。日本の安来工場(島根県安来市)と、米国サウスカロライナ州にある

ICタグ耐熱±200度

KRDコーポ、折り曲げも

ICタグ製造のKRD(神奈川)コーポレーション(神奈川県)は、折り返し可能な耐熱±200度のICタグを開発した。高温で洗浄する白衣や、衝撃吸収用のシリコンゴムなどを接着する。厚みは0.8〜1.5ミリ。樹脂を使う一般的なICタグは高熱で溶けてしまい、寒冷な環境ではもろくなって壊れやすくなる問題がある。開発したICタグは同二百度で三百時間、同マイナスイ百九十六度なら四カ月以上置いても、データを読み出せることを実験で確認した。

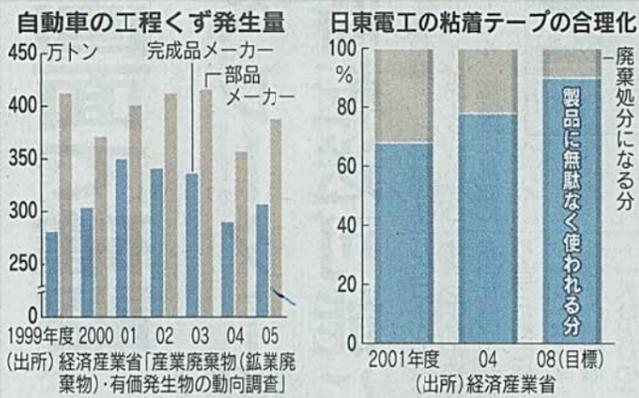
全額出資のアモルファス子会社で、それぞれ年間二万五千トンを生産している。増産計画の第一弾として、米国子会社に約二十億円を投じて新ラインを建設することを決めた。〇九年秋までに生産能力を五割増の三万八千トンを度まで引き上げる。〇九年以降も日米とも生産能力を段階的に高めて二〇一五年までに現行の三倍にあたる年産十五万ト体制にする。変圧器用鉄心は新日本製鉄などが強みを持つ電磁鋼板が主流。アモルファスの普及率は五%程度と見られる。米国エネルギー省が昨年、二〇一〇年から変圧器の消費電力削減を義務付けたことか、アモルファスの需要が急拡大しているとい

SEAL SO GOOD!

オイルシールは、品質の歴史です。

NOK株式会社

ビジネスPlus



ものづくりに潜む「肥満体質」

日本のものづくり力は世界一と言われているが、資源節約の観点ではあまりほめられたものではない。自動車や電気・電子機器では部品・部材メーカーで廃棄物となる工程くずが増えている。理由は様々だが、液晶ではパネルの大型化に伴い、画面に張るフィルターのサイズがあわなくなって端材が大量発生したという。完成品と川中メーカーの間の「すり合わせ」の失敗が所々で起きているようだ。

この無駄を克服すれば新たな強さになる。日東電工は粘着テープの一部で、廃棄物コストを原価計算に厳格に組み入れる手法を導入、歩留まりを大幅に改善した。「材料、エネルギー消費、廃棄物をすべて削減できた」(同社)。伝統的な損益計算書では廃棄物コストは売上原価に不透明な形で含まれ、顕在化しない。同社はそこに目を付けた。産業界の次なるカイゼンの標的は省資源化にありそうだ。

Index

薄型TVバトル 北米で消耗戦

北米の薄型テレビ市場が消耗戦の様相を呈している。市場規模は日本の約3〜4倍の300億ドルと大きく、大手各社が主戦場と位置付ける。激戦北米市場の最前線を追った。

- ・リチウムイオン電池 3社決戦 ... 3
- ・三菱電、映像監視システム攻勢 ... 7

Top Interview



石油資源開発 渡辺 修社長

化学を磨く

箱根と駿河湾を眺望す 物質を開発する考えた。る丘に立つ静岡県立静岡



解析機器を使ってがん患者のにおい成分を分析する(神奈川県平塚市の高砂香料研究開発本部)

の香りを出すために使われる香料。「今年、ついに世界シェア100%を握った」。宇部興産の西田祐樹・ファインケミカルビジネスユニット長は興奮を隠さない。同社が世界市場を席巻

手助け 宇部興産

サフロールを原料として中間体やバニラ香料などいた。だが、主要産地の中国やベトナムで河川のおり、それを新製品の開発(はんらん)防止や発に生かした。資源保護のため伐採規制が進み、香料メーカーの原料調達には困難になってきた。

大衆薬の対面販売支援 適切な薬端末表示

【長野】ソフトウェア市、宮島仁(社長)は今秋、風邪薬など大衆薬の対面販売を支援する新システムを発売する。顧客の症状と医薬品の相性を素早く調べ、適切な商品提案をする。顧客の商品情報をモニター上で確認したうえで購入を判断できるようにする。薬剤師以外にも大衆薬販売を認める来春の薬事法改正をにらみ、新規参入に意欲的なスーパーや

専用モニターを置き、売手が顧客と対面しながら使える。販売者側のスクリーンで商品バーコードを読み取り、顧客の症状や常する医療用医薬品などの情報を入力。同社が開発した医薬品のデータベースを「薬源」を使い、顧客の症状やアレルギーから適切な商品を絞り込む副作用などの恐れがある場合は画面上で警告し、販売者に別の商品提案法改正をにらみ、新規参入に意欲的なスーパーや

シロクマ君に「夏の涼」噴霧

「ホッキョクグマのおうちにもクーラーがついてるの?」。家族連れでにぎわう夏休みの上野動物園(東京・台東)。ホッキョクグマ飼育エリア写真に近寄り、さわやかにひんやりした空気を感ずる。冷気の発生源はクマの上、3歳ほどの場所にある「モイスチャーミスト」と呼ぶ機械だ。製造したのは双葉リース(東京・江戸川)。直径0.1ミリの穴から噴き出した霧は外気に触れると蒸発、周りの温度を下げる。打ち水と同じ原理の「エコ」な冷房だ。飼育係の乙津和歌さんは「ほかの動物の暑さ対策にも活用したい」と話している。



蒸発、周りの温度を下げる。打ち水と同じ原理の「エコ」な冷房だ。飼育係の乙津和歌さんは「ほかの動物の暑さ対策にも活用したい」と話している。